

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 | | 年 月 日 | | |
|--------------|----|--|-----|---------|--|---|
| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | 定員に応じたスペースを確保し、活動内容に合わせた配置を行っています。 | 活動の多様化に伴い、さらなるスペースの有効活用を検討しています。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | 風呂部分には安全柵を設置し、事故防止に努めています。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | 個別対応が必要な場合、専用のスペースを提供しています。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。 | ○ | | 定期的なミーティングを行い、振り返りを行っています。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | アンケートの回収率が課題です。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | ○ | | 立ち上げて1年目の為、外部評価の導入を検討中です。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を実施する機会が確保されているか。 | ○ | | | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | 個別支援計画に基づいて支援内容を明確にし、保護者へ丁寧に説明しています。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | 面談・行動観察・保護者の聞き取りを通してアセスメントを実施しています。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、発達支援支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 会議を開催し、複数の職員で情報を共有しながら計画を立てています。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 支援開始前に、職員で計画内容を確認し、共通理解を持って支援しています。 | |
| | 15 | こどもの達成行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | 支援の中で子どもの様子を記録し、職員で話し合うようにしています。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 本人・家族のニーズを反映し、得意な見えた支援内容を個別に作成しています。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 定期的な会議を通して、職員が意見を出し合いながら活動内容を検討しています。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 季節行事や子どもの興味関心に合わせて、毎月内容を見直しています。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 一人ひとりの様子に合わせて、活動を選ぶようにしています。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 毎朝のミーティングで、当日の児童の状態や支援内容を職員全員で共有しています。 | |
| | 21 | 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。 | ○ | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 支援内容や児童の反応を記録し、定期的に見直しを行うことで支援内容に反映しています。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 半年ごとに見直しの時間を設けてモニタリングしています。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を徹底組み合わせて支援を行っているか。 | ○ | | 創作、運動、日常生活活動(LSTやSST)、余暇活動などを実施しています。 | 地域交流の機会が少ないため、今後の検討課題です。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促すための支援を行っているか。 | ○ | | 活動やおやつ選択を通して、自分で選択機会を設けています。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。 | ○ | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 送迎時のやりとりで情報を共有しています。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。 | ○ | | 今月初めに対応をし、学校および相談支援事業所と情報共有を行い、支援内容の引き継ぎを実施しました。 | |
| | 31 | 地域の発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | 現時点では連携や研修の機会がありませんでした。 | 今後は、情報提供や研修の機会を設けられるよう体制づくりを行ってまいります。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | 現在のところ、放課後児童クラブや地域の他のこどもたちとの交流には取り組んでいません。 | 地域との交流を増やすために、事前準備と関係づくりが必要です。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | こども部会の研修会に参加しました。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 送迎時や定期面談を通して、こどもの様子を伝え合っています。 | |
| | 35 | 家族の対応の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | | 十分な情報提供ができていませんが、今後計画的に整備していく方針です。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | 面談の際に保護者の希望や子どもへの思いを丁寧に聞き取り、計画に反映しています。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | 支援開始前に計画内容を口頭と書面で説明し、内容を理解いただいたうえで同意を得ています。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 面談や送迎時の声かけを通して、必要に応じて時間を設けて対応しています。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 立ち上げ1年目ということもあり、現在はまだ保護者会等の発足実績はありません。保護者からの個別の相談には丁寧に対応しています。 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | | |
| | 42 | 定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 月1回のお便りを配布し、行事予定や活動の様子をわかりやすくまとめています。 | |
| | 43 | 個人情報取扱に十分に留意しているか。 | ○ | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | 開設1年目であり、地域住民を対象としたイベントや招待はまだ行っていません。 | 地域とのつながりを今後図っていくため、地域交流となる取り組みを検討していきたいと考えています。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 地震や火災を想定した避難訓練を年2回以上実施し、BCPも職員に周知しています。 | |
| | 48 | 事前に、指演や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 利用開始時や定期面談時に健康情報を聞き取りしています。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。 | ○ | | 職員間で日々の支援中のヒヤリハット事例を共有し、定例会で再発防止策を話し合っています。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 年1回の虐待防止研修を実施し、早期発見・早期対応の意識づけを行っています。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | 現在、身体拘束が必要となる対象者がいませんが、必要な場合に備え、方針と手続きを整えています。 | 対象者がいないため、実際に適用する機会はありませんが、今後必要に応じて体制を定期的に見直していきます。 |